

情報通信が支える次世代のITS 講演概要

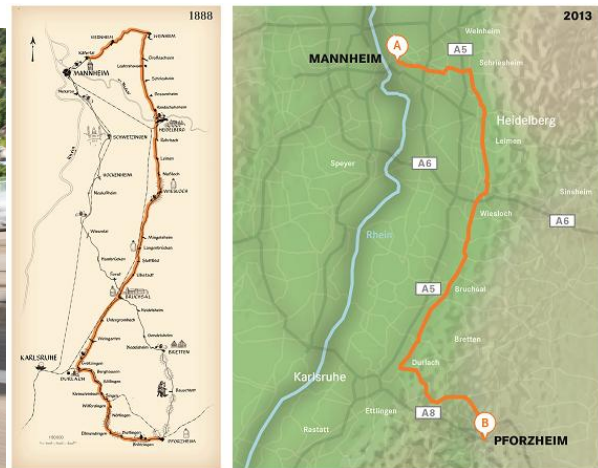
タイトル:メルセデス・ベンツの自動運転実験

講演団体:メルセデス・ベンツ日本株式会社

ダイムラーは 2013 年 8 月、ある歴史的ルートで「S500 INTELLIGENT DRIVE リサーチカー」による自動運転実験を実施し、都市間および市街地ルートにおける自動運転の実現可能性を自動車メーカーとして初めて実証しました。実験ルートはマンハイムからプフォルツハイムまでの全長 100km で、丁度 125 年前、カール・ベンツの妻ベルタが世界初の長距離走行を敢行した際とまったく同じ道を辿りました。21 世紀の今日では、交通量も多くSクラス INTELLIGENT DRIVE の自動運転機能は、交通信号やロータリー式交差点、歩行者、自転車、路面電車など錯綜する多くのシーンを切り抜ける必要に迫られました。このプロジェクトにおける目標は大きく3つあり、第一に高速道路以外の一般道路や街中、郊外での自動運転を経験すること、第二にセンサー、カメラやレーダーなどはすでに量産されているもの、もしくは量産に近いものを用いること、そして第三に将来の自動運転機能に向けた技術課題を洗い出し、様々な解決法を検討することになりました。目標を達成することで自動運転機能を量産車へ世界で最初に採用することを目指しています。



S500 INTELLIGENT DRIVE リサーチカー



歴史的ベルタ・ベンツ・ルート